

活動報告 3月~5月



環境対策分科会 環境アカデミー
みつばちの生態学講座～地域のコミュニティとミツバチプロジェクトの可能性～

3月25日 於緑小ふれあい給食室
小学生から大人まで約 30 名参加。
意外なみつばちの生態を学び、講師の環境対策分科会リーダー児島さん自らが養蜂し採取した蜂蜜を試食しました。養蜂を通して人が集まりコミュニティが広がっていく。

その実践と希望を

児島さんのハチミツ



第18回まちづくり協議会総会

4月21日 於福祉センター
出席者 32 名 (出席率 72%)。29 年度収支決算・活動報告、30 年度予算案・活動計画承認。

防災教育の日(セーフティ教室)

4月28日 於緑小・第八中学校
非常食のアルファ米試食、防災倉庫の確認、中学校簡易トイレの設置、AED の設置箇所を確認。防災倉庫の備品リスト更新を市に依頼しました。簡易トイレの組立てなど、多くの人に一度でも経験してほしいと思います。



統一クリーンディ (5月20日頃)

5月20日頃を目安に、緑ヶ丘・仙川地区の一斉清掃を目指しました。

環境対策分科会

柳川公園の花壇の植栽 5月20日 年2回予定の1回目。今回はサルビアの花を植えました。2回目は 11 月中旬予定。興味のある方はぜひ一緒に!花のある環境を作りましょう。



活動予定



文化交流分科会

緑ヶ丘うたごえサロン開催

7月28日(土) 地域福祉センター
講師はおなじみ吉田恭子先生・吉田秀司先生、佐藤英子先生。すてきなお話を交えながら、ピアノの伴奏で歌います。どなたも気軽に参加できます。

Editor's Note

30 年度が始まりました。広報誌ではまちづくりの活動を通して、緑ヶ丘・仙川の魅力をお伝えできたらと思っています。「人がいて街ができる」。当たり前のことでも、一つひとつ見直すと、もっと良いことが生まれてくると思います。

PICK-UP 桜まつり&文化交流分科会桜のコンサート

3月31日(土) 緑小校庭

福祉センター改装工事のため、昨年度の緑ヶ丘コンサートは、桜まつりとのコラボレーションとなりました。満開の桜と青空の下で、いつもに増して様々な方々に楽しんでいただける桜まつりになりました。



音絵うた桜のコンサート

桜のコンサート

絵本や文学作品にアンサンブル音楽を融合させるコンサート活動をする「音絵うた」。今回は会場の皆さんと一緒に歌えるようにと、アンパンマンマーチからお祭りマンボまで、ユニークな選曲を演奏。

桜まつり

出演は 10 団体 11 演目。華やかなプログラムとなりました。出店も 15 団体。ビールのお供になりそうなメニューから、お子様向けには綿あめ、ソースせんべい、射的、ヨーヨー釣りなどもあります。地域の皆さんが一体となって、桜まつりを盛り上げてくださいました。



緑ヶ丘・仙川 まちづくり協議会通信

No.50 2018年5月発行

桜まつりの賑わいをお伝えします。

たくさんのパフォーマンスとまるでB級グルメのような出店。地域の力が集結しました。(記事4面)



ふるさとを創造できたら...

3月31日 桜まつり 於緑小校庭

満開の桜に誘われるかのように、多くの人たちが緑小の校庭に集いました。演者も出店も参加する人全てがご近所さんです。街をあげてのお祭りは毎年、賑やかさを増しています。

緑ヶ丘・仙川地区に住まう人たちの心の中に「もうすぐお祭りだね」とか、「子供の頃によく行ったな」とか…。ご家庭の会話の中に自然と出てくるような、当たり前の風景になっていたらいいと思います。もっと多くの人に愛されるお祭りになるには、どうしたらいいかを考えていきたいと思っています。

目的の一つには防災の意味があります。ご近所でありながら、見たこともない人はたくさんいます。でも、言葉を交わさなくても、校庭に集うだけで親近感が湧いてきます。



自治会紹介 Vol.3 緑ヶ丘西部自治会

沿革 緑ヶ丘西部自治会は、昭和 41 年(1966 年)1 月に結成された緑ヶ丘 1 丁目自治会に属していたが、昭和 46 年 1 月、千羽橋近くから北西部天神山通りにかけた仙川沿いの地域が、緑ヶ丘一丁目西部自治会として一丁目自治会より分離。平成 2 年 4 月、「緑ヶ丘西部自治会」に変更されました。

町会を真っ二つに分断する外環道路

昭和 41 年に家格発表された**東京外環道路計画**は昭和 45 年～平成 20 年まで計画がストップしていたが、その後凍結が解除され、245 あった戸数が約 90 移転になり、現在は 142 世帯(他に退会 15)だが外環道を挟んで 104 世帯と 38 世帯に分断され、開通後の自治会活動をどのように行っていけばよいか懸念されるところです

町会事務所と物置の設置と事務所前の空き地の利用

町会事務所と物置が平成 28 年 6 月に旧、セボン緑ヶ丘の右端に設置することができました。1 間 × 2 間 (2 坪) あり、町会の物品殆んどが収納できます。事務所前の空き地が約 40 坪強あり、早速**子ども会主催の納涼会**を行い、29 年からはこれまで隔年開催であった秋祭りを通年開催にし、町会員の親睦を図っています。100 人を超える人が参加し、盛大な盛り上がりを見せていました。



● 緑ヶ丘西部自治会エリア
● 緑ヶ丘境界線
① 外環用地 ② 外環道路

年間行事紹介

5 月の第 3 日曜日に地域のまちづくり協議会主催の統一クリーンデーに参加。仙川沿いの遊歩道清掃には約 40 数人前後の方がこの 5 年間参加し、休憩事のお茶タイムで親睦が生まれています。12 月 21～25 日は恒例の夜回り。延べ 186 人、33 世帯の参加が得られています。毎日参加賞を出し、5 日間皆勤者にはごみ袋 1 本(10 枚)を差し上げていますが、昨年は 15 人が皆勤賞をもらい、大いに盛り上がりました。

今後の町会運営や活動について

現在は、町会内に公園がありませんが、外環工事完成後には中央道の下に従来あった**子供遊園地**を再開することで、調布市と話がついています。また、外環道路開通後の地上部分のグリ - ンベルトをどのように利用するかまだ決まっていますが、ベンチや花壇を設置するなどした用途を調布市と検討中です。外環工事が完了するまでは基本的な活動目標を立てることは難しく、国は今年の 3 月末に、東京都が掲げる東

京五輪までの完成目標を、正式に断念する完成目標を公表しました。実際の完成年度は 2～3 年遅れ、新しい年号の 3 年後、これから 5 年後位になるものと思われます。それまでは具体的な活動は起こせず、市との机上の検討を主にしなければならず、本格的な解決は、先送りにならざるを得ず、現在の専用地内を利用した活動を、活発に行っていくしかありません。

文章：緑ヶ丘西部自治会 渡邊俊明さん

調布市防災教育の日

防災訓練はいざという時に、必ず役に立つものです。

緑ヶ丘・仙川まちづくり協議会副会長 第 13 分団 団員 長谷川 正

調布市では、4 月の第 4 土曜日を「調布市防災教育の日」と定め、学校と保護者・地域、関係機関が一体となった防災教育及び避難所開設・運営訓練を、市立小・中学校 28 校全校(全国で唯一)で一斉に実施し、まちづくり協議会では、防災訓練の協力をしています。

今年度より、市職員主導による「統一メニュー」として「避難所におけるトイレの確保・管理」をテーマに、各校の避難所運営訓練において、災害時のトイレ状況を確認するとともに、トイレの設営訓練を行いました。実際に、ト

イレ設置をしてみると非常に軽くて組み立てやすい反面、風に弱そうで、安心して使用する為に固定するなどの配慮が必要ではないかと感じました。アルファ米も作り方は非常に簡単ですが、1つの段ボールが重い為、運搬に人手が必要だと思いました。



この防災訓練は、学校の授業がある日という事もあり先生方の参加が多く、これはとてもありがたい事であり、日頃から地域の方々や顔馴染みであるため実際に避難が必要という場合もスムーズに行えるかもしれません。しかし、夜や早朝となると先生方はこの地域にいらっしゃいません。人任せ

という事にせず、個々でこの地域を守るという事を意識していく必要があると思います。

私は、消防団に所属し、日々地域の防災に務めています。居住されている方が自主的に防災をしていくという事が大切だと感じます。実際に避難が必要となる時には子供からお年寄りまで自分の身は自分で守り、互いに助け合うという形【自助・共助】が理想であると考えます。

その為この調布市防災教育の日の訓練に、より多くの地域の皆様が足を運んでいただけるようなアナウンスをしていけたらと思います。



暮らしの中のトピックス



着任のご挨拶

調布緑ヶ丘郵便局長 佐藤 範治
平成 30 年 4 月 1 日付けにて調布緑ヶ丘郵便局に参りました、佐藤範治と申します。よろしくお願いいたします。日頃より郵便局をご利用いただきありがとうございます。近隣の三鷹北野郵便局が閉鎖になり、そちらをご利用いただいていたお客さまも当局をご利用いただくようになりました。そのため、窓口が混雑し、おまたせする日が増えご迷惑をおかけしております。特に混雑することが多いのが休み

明けの日や年金支給日です。また、お昼すぎから夕方にかけても混雑することがあります。避けていただくと、お待ちいただく時間が少なくなるかもしれません。

最後になりますが今後も調布緑ヶ丘郵便局をご利用いただきますよう、よろしくお願いいたします。



みんなの森に行ってみました。

久しぶりにみんなの森に入ってみると、木漏れ日が優しく感じ「こんなところが身近にあるのだな」と実感しました。絶滅危惧種の金蘭・銀蘭が生息し、

春先には花を付けるそうです。少し昔は子どもたちが秘密基地を作ったり、虫採りをしたりしていましたが、今はひっそりと静かな時間が流れています。



2013 年、「調布市都市計画特別緑地保全地区」と指定され、良好な自然的環境となるように保全されていますが、森の奥に入ると枯れ始めた赤松の大木の周りに立ち入り禁止のロープが張られています。元気に繁る木々も手入れを怠ると、下枝が風で折れ、飛んでくるととても危ないそうです。人けもないので、森はいつの間にか危険箇所になってしまいました。「みんなの森」と親しまれていたこの場所に、明るい日差しが戻るといいですね。